



Daiwa House®  
Group

N e w s R e l e a s e

2022年9月20日

報道関係各位

大和ハウス工業株式会社  
代表取締役社長 芳井 敬一  
大阪市北区梅田 3-3-5

## ■当社海外で最大規模の延床面積を誇る大型物流施設

### 「DPL Malaysia III (ディーピーエル・マレーシア・スリー)」着工

大和ハウス工業株式会社(本社:大阪市、社長:芳井敬一)は、マレーシア・セランゴール州において、当社マレーシア3棟目となる大型マルチテナント型物流施設※1「DPL Malaysia III (ディーピーエル・マレーシア・スリー、以下:「DPL マレーシアIII)」(地上3階建て、敷地面積:60,742㎡、延床面積:156,292㎡※2、賃貸面積:114,122㎡)を2022年10月1日に着工します。

なお当施設は、当社海外で最大規模の延床面積を誇る大型物流施設となります。

※1. 複数のテナントが入居できる物流施設のこと。

※2. 東京ドーム約3個分。



【「DPL マレーシアIII」外観イメージ】

大和ハウスグループでは、「第7次中期経営計画(2022年4月~2027年3月)」の事業施設事業において、日系企業のグローバル戦略をサポートすることで、事業の成長を目指しています。

マレーシアにおいては、多様化する物流施設のニーズに対応するため、2019年1月より「DプロジェクトマレーシアI」(2020年9月竣工、敷地面積30,379㎡、延床面積17,660㎡)、2020年9月より「DプロジェクトマレーシアII」(2021年11月竣工、敷地面積28,660㎡、延床面積19,966㎡)に着手。両施設ともお客さまにご好評いただき、竣工前に満床になったことを受け、このたび「DPL マレーシアIII」を開発することとなりました。

「DPL マレーシアIII」は、「DプロジェクトマレーシアI・II」の隣接地で、クアラルンプール中心部から南西へ約27km、「クアラルンプール国際空港」から北へ約40km、シャー・アラムの工場や物流施設が建ち並ぶエリアに位置しています。

#### ●ポイント

1. 当社海外で最大規模の延床面積を誇る大型マルチテナント型物流施設
2. 消費地のクアラルンプールに近く、海と空の玄関口にアクセスしやすい場所での物流施設開発

## 1. 当社海外で最大規模の延床面積を誇る大型マルチテナント型物流施設

マレーシア国内において、E コマース事業の売上は、2019 年度の約 6,754 億リンギット（約 20 兆円）から 2021 年度には約 1.09 兆リンギット（約 34 兆円）<sup>※3</sup>と 2019 年度比で約 70%増加し、コロナ禍などの影響で需要の拡大に伴い、物流施設のニーズも高まっています。

当施設は、当社海外で最大規模の延床面積（156,292 m<sup>2</sup>）を誇る物流施設で、地上 3 階建て、E コマースや食品卸売業者、小売業者などのテナント企業の入居を想定し、各階に接車ができるようランプウェイを設けた大型マルチテナント型物流施設です。最大 12 テナント<sup>※4</sup>が入居可能で、各区画に事務所を設置できるとともに、各区画へのアクセスが容易な屋内駐車場を設けることで、各区画にスムーズに移動することができるなど、安全性と利便性に配慮しました。

※3. マレーシア投資開発庁のデータより。

※4. 1 区画 6,432 m<sup>2</sup>～11,849 m<sup>2</sup>。

## 2. 消費地のクアラルンプールに近く、海と空の玄関口にアクセスしやすい場所での物流施設開発

「DPL マレーシアⅢ」は、シャー・アラム高速道路「コタ・ケムニンインターチェンジ」から約 3.5km、クアラルンプール中心部から南西に約 27km の場所に位置しています。クアラルンプールから E コマース利用者や市街地の商業施設への店舗間配送などの拠点として、消費地へのアクセス性の高い立地にあります。また、マレーシア最大のコンテナ取扱量を誇る「クラン港」から東へ約 24km、「クアラルンプール国際空港」から北へ約 40km と、クアラルンプールと港湾・空港の中間地点にあるため、物流拠点として海と空の玄関口にアクセスしやすい立地となっています。

### <主な設備・仕様>（予定）

事務所（各区画分）、全館 LED 照明、太陽光発電設備、フォークリフト充電用コンセント、ドックレベラー<sup>※5</sup>

※5. 荷物の出し入れをする際に、高さを調整する装置。



【位置図】

## ■ 今後について

当社グループが保有する経営資源（建築物の調査・設計・施工、建物の管理・運営に関するノウハウ）を組み合わせ、海外で物流施設を検討されている日系企業や世界各国の企業に対して誘致活動を行い、お客さまのニーズに合わせた物流施設の開発を拡大していく予定です。

■建物概要

名 称	「 DPL Malaysia III」 (ディーピーエル・マレーシア・スリー)
所 在 地	マレーシア・セランゴール州シャー・アラム ( Lot22203, Jalan 33/52, Section 33, 40450 Shah Alam, Selangor, Malaysia)
交 通	シャー・アラム高速道路「コタ・ケムニンインターチェンジ」から約 3.5km クアラルンプール中心部から南西へ約 27km 「クラン港」から東へ約 24km 「クアラルンプール国際空港」から北へ約 40km
建物用途	マルチテナント型物流施設
事業主・運営会社	Daiwa House Malaysia Logistic Sdn.Bhd (ダイワハウスマレーシア・ロジスティック・スンディリアンベルハド)
設計	Arkitek IPPM Sdn. Bhd. (アーキテック・アイピーピーエム・スンディリアンベルハド)
施工	SLG Construction Sdn. Bhd. (エスエルジー・コンストラクション・スンディリアンベルハド)
構造・階数	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)・地上 3 階建て 有効高さ：各階 12m、床荷重：3.0t/m <sup>2</sup> (一部 1.5t/m <sup>2</sup> ) 幅：276m、奥行き：1 階 123m、2・3 階 108m
総事業費	約 170 億円
敷地面積	60,742 m <sup>2</sup> (約 18,374 坪)
延床面積	156,292 m <sup>2</sup> (約 47,278 坪)
賃貸面積	114,122 m <sup>2</sup> (約 34,522 坪)
入居可能テナント数	12 テナント
着 工	2022 年 10 月 1 日
竣工予定	2025 年 1 月 31 日
入居予定	2025 年 2 月 1 日
お客さま お問合せ先	大和ハウス工業株式会社 東京本店建築事業部 担当 佐藤：03-5214-2200 Daiwa House Malaysia Logistic Sdn.Bhd. (ダイワハウスマレーシア・ロジスティック・スンディリアンベルハド) 担当 地道：+60-12-436-3491 岩崎：+60-10-892-5011 e-mail： <a href="mailto:info@daiwahouse.com.my">info@daiwahouse.com.my</a> (日本語・英語可)

以 上

お問い合わせ先		
広報企画部	東京広報グループ	03-5214-2112
	広報グループ	06-6342-1381